

# 平成30年度議会による行政評価 施策評価の予算措置等の状況

資料1-4

- 市総合評価 A: 計画以上に進捗しており、このまま継続して施策を推進する。  
 市総合評価 B: ほぼ計画通り進捗しており、継続して施策を推進する。  
 市総合評価 C: 目標をやや下回る要因の分析と施策の見直しを要する。  
 市総合評価 D: 目標を大きく下回る要因の分析と施策の見直しを要する。

## < 施策評価 >

(千円)

施策評価名	担当課	施策内容	市 評価	議会 評価	議会評価総括コメント	実施状況コメント	H31年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	増減額 (H31-H30)	備考 (H29年度 決算額)
消防・救急体制 の充実	自治振興課 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民に対する防火への啓発を進めながら、きめ細かな火災予防を推進する。</li> <li>・ 急増する救急需要に対して適正利用の広報及び応急手当の普及啓発の強化を図る。</li> <li>・ 想定される様々な災害に備えて、迅速かつ的確な対応をとることができる消防施設の充実や消防装備の充実強化を進める。</li> </ul> <p>(現況と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国的に住宅火災の低減が求められている中、啓発活動を通じて住宅防火を推進する必要がある。</li> <li>・ 救命率向上のために、AEDの取扱いを含め救命処置に関する講習を積極的に実施する必要がある。</li> <li>・ 消防団活動の活性化を図るため、団員の確保、資質向上を図る必要がある。</li> </ul>	C	現状維持	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. AEDの取扱いを含む救命講習会の受講人数及び、回数の増加を図ること。</li> <li>2. 市民の火災予防意識の更なる向上に努めること。</li> <li>3. 住宅火災警報器の全戸設置に努めること。</li> </ol>	<p>この施策を構成する2事業のH31当初予算額とH30当初予算額を比べると、1,025千円(5.6%)の増加となっている。これは、施策を構成する2事業のうち、消防活動事業(消防団)で1,298千円の増、庁舎管理事業(消防団)で273千円の減となったためである。</p> <p>※増減理由は各事務事業に記載。</p>	19,412	18,387	1,025	16,094

<本施策を構成する事務事業評価>

市評価段階 A: 拡大、B: 現状維持、C: 縮小、D: 休止、E: 段階的に廃止、F: 即廃止(完了)

(千円)

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H31年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	増減額 (H31-H30)	備考 (H29年度 決算額)
1	消防活動事業(消防団)	自治振興課 (危機管理室)	火災等の災害及び訓練等に出動した消防団員に対する費用弁償の支払い処理や消防団員が安全で活動しやすい消防団運営ができるよう支援する。(5分団、150人)	B	-	<p>○消防団の人材育成・人材確保などの課題が有ると思いますが、引き続きよろしくお願ひします。</p> <p>○消防団の負担軽減のために、健康な方の消防団入団の年齢的な緩和策はできないものか？</p> <p>また、女性の活躍について議論されている昨今、広報活動を主にもっと、女性の消防団の拡充等、すそ野を広げる取り組みはできないものか？</p> <p>○施設管理事業のコメントと同じ。</p> <p>○活動服等の消耗品の新調など被服の充実、器具庫・消防ポンプ自動車の維持管理に重点を置くと共に、訓練等を重ねる事により団員の更なる資質の向上・充実を図ってもらいたい。</p> <p>○地域の消防団を支えるため、相応の予算を計上して頂きたい。</p> <p>○地域の消防団の活動を支えることは大変重要。予算の増額を求めたい。</p> <p>○消防団のある地域では現状の活動を継続していくことになるが、無い地域ではその役割は町会組織が一定の役割を担わざるを得ないと思う。</p> <p>各町会に於いて防災士の資格保有者や経験者などに指導を含めた平時の活動を行っていくべきと感じる。</p> <p>○災害時にはいち早く現場に駆け付けるための組織として活動するためには本市内で勤務する必要があります。しかし、昨今の自営業者の減少により消防団員の減少は避けて通れません。現在協力いただいている方々の負担の少ない体制を構築する必要があります。</p> <p>○普段から行政との密なる連携を取ることで、災害に備えてください。</p>	<p>H31当初予算額とH30当初予算額を比べると、1,298千円(8.2%)の増となっている。</p> <p>これは、消火設備購入費で972千円の皆減となった一方、学校教育課から移行した被災地訪問委託で1,735千円の皆増、研修等に係る費用弁償で281千円の増となったためである。</p>	17,090	15,792	1,298	14,551

NO	事務事業名	担当課	事業内容	市 評価	議会 評価	議会評価個別コメント	実施状況コメント	H31年度 当初予算額	H30年度 当初予算額	増減額 (H31-H30)	備 考 (H29年度 決算額)
2	庁舎管理事業(消防団)	自治振興課 (危機管理室)	消防団の各分団車庫及び詰所を有効に活用できる状態にしておくようにする。(5分団6箇所、延床面積 411.86㎡)	C	—	<p>○老朽化などの問題もあるとは思いますが、よろしく願います。</p> <p>○日常の業務の中での消防団としての兼務で、いざという時の出動の際の行動が、どこまで本番さながらの行動として対応が期待できるのか？ 事後、実績や詳しい説明など欲しい。</p> <p>○上記と同じく機能強化に伴う予算拡充は積極的に実行していただきたいと思います。</p> <p>○建物の経年劣化による改修費用や大規模災害時に備えた建屋の耐久性確保等、これからも維持管理を継続して頂きたい。本市における消防防災拠点施設のうち 災害対応において最も重要である消防団施設の適正な管理及び整備は今後共必要不可欠である。</p> <p>○業務に支障のない様、頑張ってください。</p> <p>○定数20人を満たすためとして、「半強制的」な応募の繰り返しなどの無いように留意されたい。</p> <p>○消防団の活動拠点である施設の老朽化に伴う改修は必須である。また避難場所に指定されている各学校や町会館などいざという時、全員が収納できるのか、分散先はどこになるのかなど危機管理の徹底を図るべきだと考える。</p> <p>○災害発生時に迅速な対応をするためには不可欠な事業です。減少する消防団員の負担軽減のため充実を望みます。</p> <p>○災害に備えて、さらなるスキルアップに努めてください。</p>	<p>H31当初予算額とH30当初予算額を比べると、273千円(10.5%)の減となっている。</p> <p>これは、消防団災害拠点施設(旧日根野出張所)の庁用器具費で276千円の減となったためである。</p>	2,322	2,595	△ 273	1,543
合 計								19,412	18,387	1,025	16,094